

2023年2月期 決算説明資料

株式会社エスエルディー
(3223)



目次

1. 2023年2月期の業績
2. 2023年2月期のトピックス
3. 今後の経営方針
4. 通期業績予想

1. 2023年2月期の業績

1. 決算概況

売上高 3,090百万円

(前年同期 2,432百万円)

営業利益 ▲ 259百万円

(前年同期 ▲ 685百万円)

経常利益 ▲ 188百万円

(前年同期 59百万円)

当期純利益 ▲ 238百万円

(前年同期 13百万円)

2. 業績概要（累計期間）

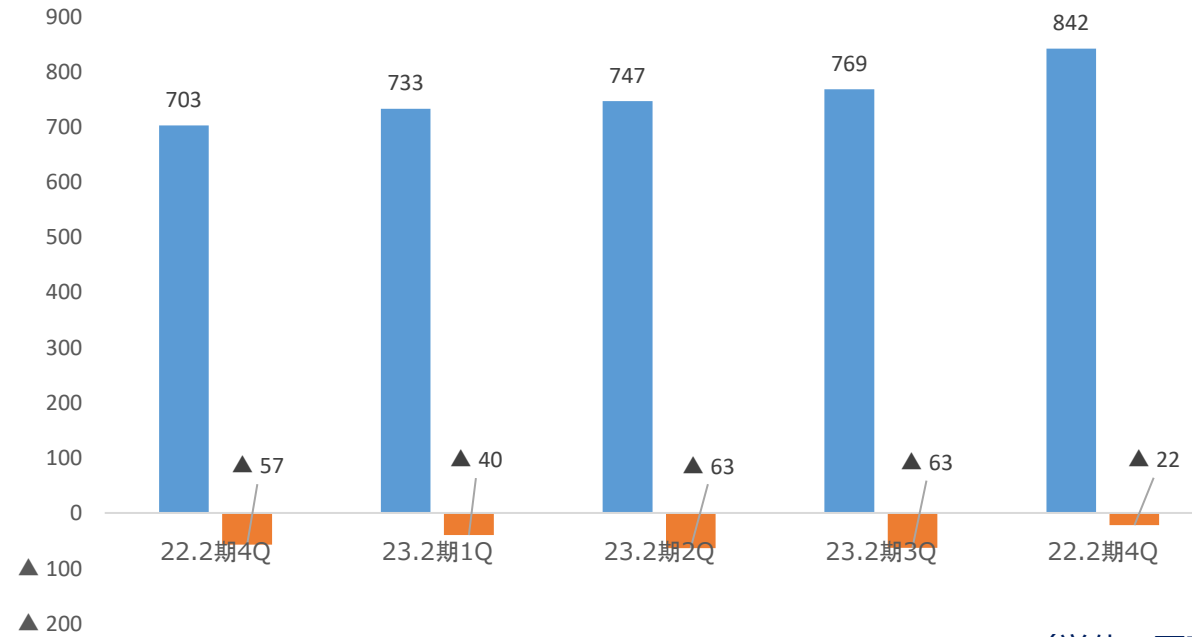
（単位：百万円）

| 項目 | 2022年2月期 | 2023年2月期 | コメント |
|------------|-------------------|------------------|--|
| 売上高 | 2,432 | 3,090 | 2022年3月にまん延防止等重点措置が解除され、人流が増加したことから外食産業における需要が大きく増加し、売上高は前年比658百万円の増収となりました。 |
| 売上原価 | 667 (27.4%) | 705 (22.8%) | 国際的な資源価格の上昇および円安等により、材料費は上昇傾向となったが、様々な施策によるコスト削減を実施、原価率の低減を図りました。 |
| 売上総利益 | 1,764 (72.5%) | 2,385 (77.2%) | 増収およびコスト削減により、売上総利益は前年比621百万円増となりました。 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,450 (100.7%) | 2,644 (85.5%) | 水光熱費等の増加はあるものの、継続したコスト低減を実施し、コスト抑制を図りました。 |
| 営業利益 | ▲ 685 (-) | ▲ 259 (-) | 売上拡大、コスト削減を徹底したものの、黒字化に至らず、営業損失となりました。 |
| 経常利益 | 59 (2.4%) | ▲ 188 (-) | 営業外収入に、時短協力金56百万円の収入を計上しました。 |
| 純利益 | 13 (0.6%) | ▲ 238 (-) | 退店の意思決定を実施したおよび収益性が低下した店舗の減損損失46百万円を特別損失に計上しました。 |

（ ）内は、売上高構成比

3. 四半期の業績推移

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| 科目 | 22.2期4Q | 23.2期1Q | 23.2期2Q | 23.2期3Q | 22.2期4Q |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 703 | 733 | 747 | 769 | 842 |
| 売上原価 | 189 | 165 | 168 | 177 | 196 |
| 売上総利益 | 514 | 568 | 579 | 592 | 646 |
| 販管費 | 656 | 657 | 654 | 658 | 676 |
| 営業利益 | ▲ 142 | ▲ 89 | ▲ 75 | ▲ 66 | ▲ 30 |
| 経常利益 | ▲ 57 | ▲ 40 | ▲ 63 | ▲ 63 | ▲ 22 |
| 純利益 | ▲ 98 | ▲ 41 | ▲ 67 | ▲ 82 | ▲ 48 |
| EBITDA | ▲ 136 | ▲ 37 | ▲ 62 | ▲ 77 | ▲ 44 |

(注1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(注2) 端数は四捨五入しております。

4. サービス別業績概要（累計期間）

（単位：百万円）

| 項目 | 売上高 | | 本社費等配賦前営業利益 | |
|-------------|---------|-------|-------------|-----|
| | 2023.2期 | 構成比 | 2023.2期 | 構成比 |
| 飲食サービス | 2,243 | 72.5 | -38 | - |
| コンテンツ企画サービス | 847 | 27.4 | 45 | - |
| 計 | 3,090 | 100.0 | 6 | - |

5. 販売費及び一般管理費 内訳

(単位：百万円)

| 項目 | | 2022年2月期 | 2023年2月期 |
|-----|--------|----------|----------|
| 販管費 | | 2,450 | 2,644 |
| 店舗 | 人件費 | 1,108 | 1,263 |
| | 経費 | 1,034 | 1,083 |
| 本社 | 人件費 | 190 | 195 |
| | 本社関連費用 | 19 | 17 |
| | その他 | 99 | 86 |

6. 貸借対照表

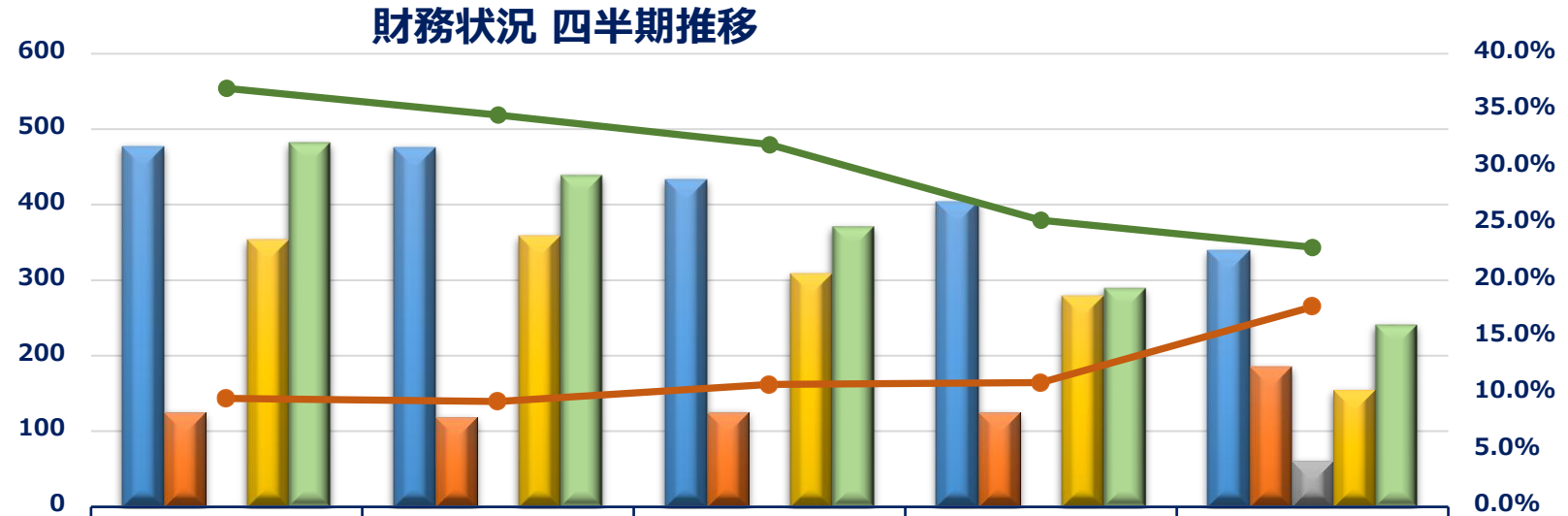
(単位：百万円)

| 項目 | 2022年2月期 期末 | 2023年2月期 期末 |
|--------|----------------|----------------|
| 流動資産 | 899 | 681 |
| うち現預金 | 477 | 338 |
| 固定資産 | 378 | 353 |
| 有形固定資産 | 87 | 61 |
| 無形固定資産 | 1 | 1 |
| 投資 | 289 | 290 |
| 繰延資産 | | 10 |
| 資産合計 | 1,294 | 1,045 |

| 項目 | 2022年2月期 期末 | 2023年2月期 期末 |
|----------|----------------|----------------|
| 流動負債 | 616 | 675 |
| 固定負債 | 196 | 129 |
| 純資産 | 481 | 240 |
| 株主資本 | 478 | 239 |
| 新株予約権 | 2 | 1 |
| 負債・純資産合計 | 1,294 | 1,045 |

7. 財務状況 四半期推移

(単位：百万円)



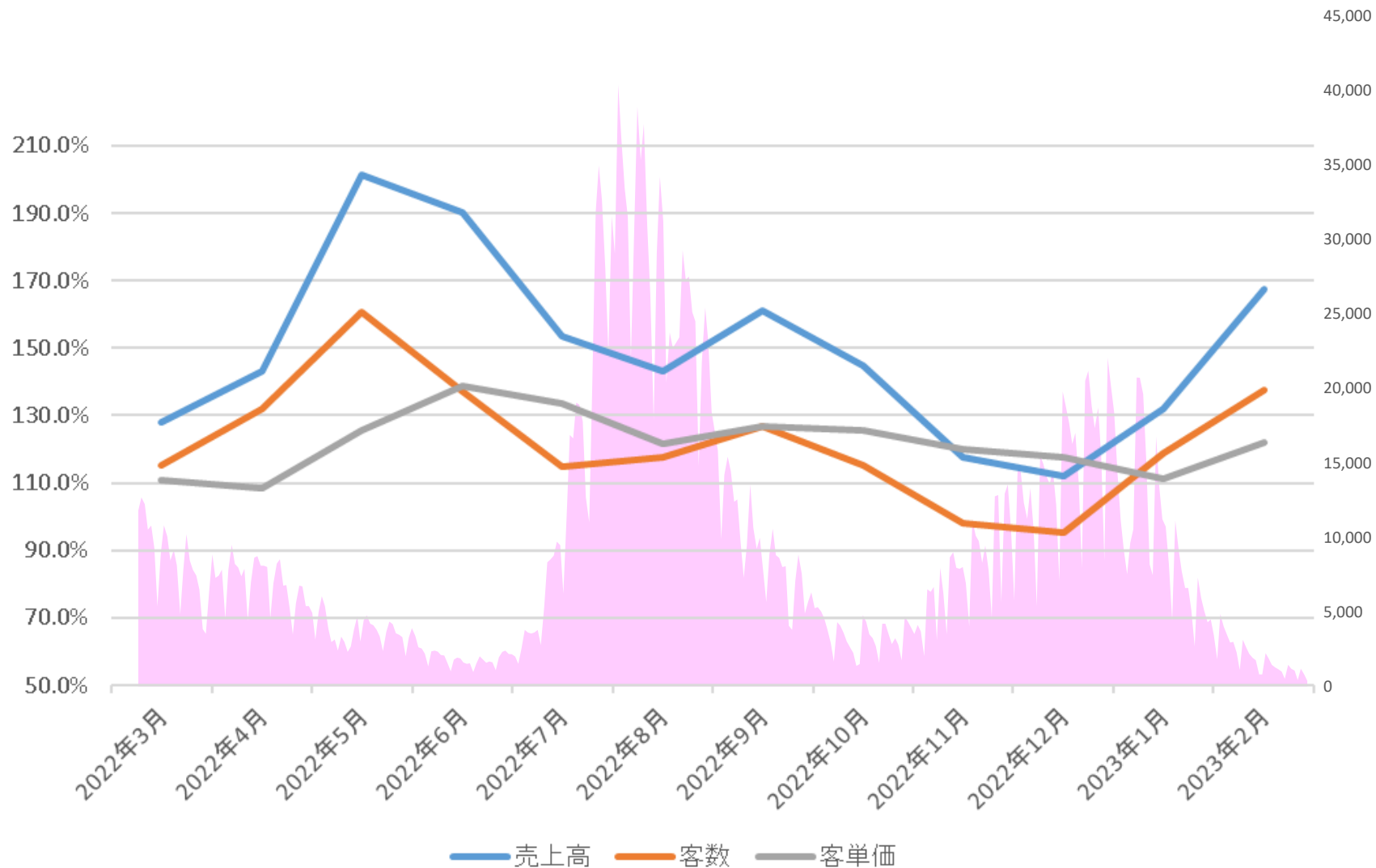
| | 22.2期4Q | 23.2期1Q | 23.2期2Q | 23.2期3Q | 23.2期4Q |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ■ 現預金 (百万円) | 477 | 476 | 433 | 404 | 339 |
| ■ 有利子負債残高 (百万円) | 124 | 118 | 125 | 125 | 185 |
| ■ (うち親会社からの借入) (百万円) | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 |
| ■ ネットキャッシュ (百万円) | 353 | 358 | 308 | 279 | 154 |
| ■ 純資産残高 (百万円) | 481 | 438 | 370 | 289 | 240 |
| ● 有利子負債依存度 (%) | 9.6% | 9.3% | 10.8% | 11.0% | 17.7% |
| ● 自己資本比率 (%) | 36.9% | 34.6% | 32.0% | 25.3% | 22.9% |

(※1) 有利子負債残高 = 短期及び長期借入金の合計額

(※2) 有利子負債依存度 = 総資産に占める有利子負債の比率

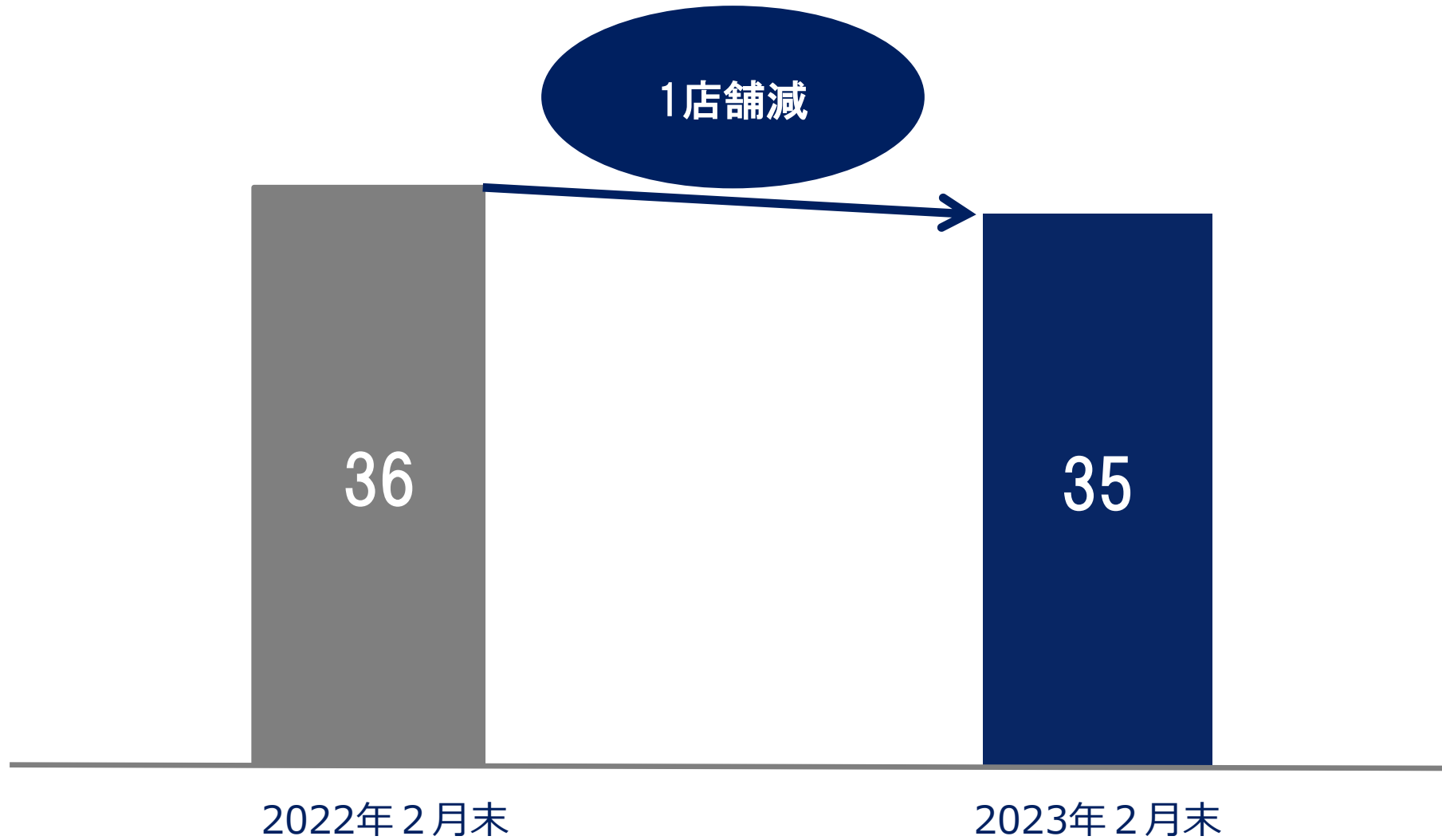
8. 月次売上高・顧客数・単価/東京都コロナ陽性者の推移 (飲食・コラボサービス、既存店舗、前年同月比)

左軸：前年同月比 (%)、右軸：コロナ陽性者数 (東京都：日別) (人)



| 前年同月比 | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 対象月 | 売上高 | 客数 | 客単価 |
| 2022年3月 | 127.8% | 115.3% | 110.8% |
| 2022年4月 | 143.2% | 132.1% | 108.4% |
| 2022年5月 | 201.4% | 160.5% | 125.4% |
| 2022年6月 | 190.1% | 137.0% | 138.8% |
| 2022年7月 | 153.4% | 114.9% | 133.5% |
| 2022年8月 | 143.1% | 117.5% | 121.8% |
| 2022年9月 | 161.0% | 126.8% | 126.9% |
| 2022年10月 | 144.7% | 115.1% | 125.8% |
| 2022年11月 | 117.7% | 98.0% | 120.1% |
| 2022年12月 | 112.0% | 95.3% | 117.5% |
| 2023年1月 | 132.1% | 118.8% | 111.2% |
| 2023年2月 | 167.5% | 137.6% | 121.8% |

9. 直営店舗数の推移



2. 2023年2月期のトピックス

通期トピックス

| トピックス | |
|--------------------|---|
| 飲食サービスの基盤強化 | 新メニューの積極的な投入による顧客数の増加 |
| コラボカフェの店舗拡大 | 従来の専門店舗での開催を、Kawara CAFE & DININGなど飲食店舗でも開催 |
| プロデュース事業の回復 | コロナの感染者減少及び施策の導入により来客数の増加 |
| ポップアップ（食物販催事）出店の強化 | 商業施設、駅での催事開催を拡大 |

1. 飲食サービスの基盤強化

1. Kawara CAFE & DINING : チーズを中心とした新メニューの投入
2. 銀座の大衆肉バル・塊ミートバル : 「塊肉×酒」をテーマにしたのメニュー更新
3. チーズ料理専門店「Cheese Table」: スイーツメニューのリニューアル
4. 鎌倉材木座のキコリ食堂 : TV番組での紹介、SNSでの発信による顧客数の増加



1 - 2. 飲食サービスの基盤強化



2. コラボカフェ店舗開催の拡大

当社旗艦ブランドである「kawara CAFE」11店舗にて、「東京リベンジャーズ」コラボレーション・カフェを開催



PRESS RELEASE



2022年11月18日
株式会社エスエルディー

聖夜のコラボレーションが開催決定！ 全国の kawara CAFE
にて TV アニメ『東京リベンジャーズ』コラボレーションメニューや
限定グッズを期間限定販売！



様々なスペースやイベントの企画・運営を手がける株式会社エスエルディー（本店：東京都港区、代表取締役：有村 謙、証券コード：3223）は、株式会社WIZARD（本社：東京都千代田区、代表取締役：古角 将夫）が運営するキャラクター専門アパレルブランド「Heroes Behind the Mask Gallery（HBM GALLERY）」と共同で企画したコラボレーションカフェ「東京リベンジャーズ」を2022年11月28日（月）～12月25日（日）の期間限定で、全国11店舗のkawara CAFEにて開催することになりました。

TVアニメ『東京リベンジャーズ』第2期の放送に先立ち、kawara CAFE全国11店舗にてコラボレーションメニューとグッズの販売が決定！
キャラクターをイメージしたコラボメニューをはじめ、「クリスマス」をテーマにした描き下ろしイラストグッズやノベルティを多数ご用意いたしました。
また12月23日（金）～25日（日）限定でクリスマスケーキの販売も実施いたします！
TVアニメシリーズ第2期の放送開始を前に、皆様にお楽しみいただける内容をご用意しております！
カフェ限定のグッズも販売いたしますのでこの機会に是非ご来店ください。

4. ポップアップショップ（食物販催事）の強化

アトレ吉祥寺、ルミネ立川、ルミネ横浜、国分寺丸井、東武池袋、京王吉祥寺など、商業施設、駅でのポップアップショップの開催を拡大



3. 今期の経営方針

今期の経営方針

| 経営方針 | |
|---------------------|--|
| コラボ事業の拡大 | 飲食直営店舗での実施件数を増加し、幅広い顧客層が楽しめる店舗作りを目指す |
| プロデュース事業の強化 | ①営業力強化による新規案件の獲得 ②季節メニュー・イベント等の投入により売上高の拡大 |
| ポップアップ（食物販催事）出店数の増加 | 前期を上回る開催を計画（前期28件開催） |
| 効率的な経営の継続 | ① 材料費率の削減 ② 販売単価の向上 ③ 取締役員数の減少 ④ 間接コストの抑制 |

4. 2024年2月期の業績予想

2024年2月期の業績予想

2023年4月14日付「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて、以下の2024年2月期の業績予想を公表しております。なお、当予想は、今後の経済状況等により大きく変動する可能性があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示する予定であります。

| 項目 | 2023年2月期 実績 (百万円) | 2024年2月期 予想 (百万円) | 前期との差異 (百万円) | 前期比 (%) |
|-------|-------------------------|-------------------------|-----------------|------------|
| 売上高 | 3,090 | 3,217 | +127 | 4.0% |
| 営業利益 | ▲ 259 | 34 | +293 | — |
| 経常利益 | ▲ 235 | 48 | +283 | — |
| 当期純利益 | ▲ 238 | 42 | +280 | — |

本資料に記載された内容は、本資料の作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料において提供される情報は、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的に当該情報とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

本資料における将来の展望に関する表明は、今後の将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新・変更するものではなく、また、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料の更新・変更をおこなう義務を負うものではありません。

本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。